

〔3〕経済活動を通じて働く喜びを知る。

〔1〕で述べた文化祭には、「七宝焼サークル」は、展示即売会の部に参加し、ブローチやペンダント・ネクタイピンなど、合計108点を出品して、59点が売れました。なお売り上げ金額は、77,930円で、その内サークル員に売り、値の4割を製作費として還えしました。残りの37,760円と職員が製作した分15,000円は、次の材料購入などの回転資金として使うことになりました。

〔4〕今後の方向と問題点

今後このサークルを通して、地域社会との交流をより以上高めるとともに、技術のレベルアップを図りたいと思います。

そのためには、まだ問題として残っている技術講師の確保と、作業場の独立を是非実現化していきたいと考えております。

6) 療育行事について

国立療養所鈴鹿病院

橋本 恵美子 岡本 和子
曾我 清美 岩井 陽子

< 療育行事の目的として >

1. 単調になりがちな病棟生活に変化をもたせる。
2. 社会的経験を豊かにする。
3. 家庭的雰囲気味わう。
4. 1つの目的に向かって友達と協力し合うが、言われている。

当院で、毎年実施してきた療育行事は、20件である。立案者別に整理してみると、表1のごとくである。

近年、患者の年齢、障害度が高くなってきたことから患者自身の興味、身体的条件等に変化がみられ、いままでのような療育行事の実施・運営が困難になってきた。

そこで、立案方式の固定していない患者自身の企画を検討してみると、次のような特徴があげられた。

1. 介助人員が少ないこと。(2～6名)
2. 継続実施の時間が短いこと。
3. 自由に時間の配分ができること。
4. いずれも試合形式をとること。

これらのことは、彼らが行事を実施するにあたっての条件・制約事項等を十分考慮して立案していることを示している、と考えられた。

そこで、行事の主調を、彼ら自身の企画・立案によるものにおいた。そのような企画として、オ

セロ大会、野球大会がある。保母も積極的に援助し、共同してその運営にあたるようにした。

< その結果、行動面では >

1. 身体的理由による不参加を、自発的に表明する者がでた。(2名)
2. 運営上の役割分担が、自主的に行なわれた。

という変化がみられた。

このように療育行事を日常化することにより、増大した行事数を調節するために、五節句、季節行事を簡素化した。

このことに対しては、職員・患者から、異論はなかった。

また、高齢化による興味の分化と、高障害度化による身体的な条件の悪化に対処し、あわせて行事数を少なくするという目的から単一行事の中で、多くの催し物を実施し、そのいくつかに自由に参加できるという方式を考えた。

当院で、恒例になっている夏まつりに、この考えを取り入れてみた。

模擬店・オバケ屋敷・花火・キャンプファイヤー・飯盒炊サン・宝さがしなど、いままで個々に実施してきた行事を、夏まつりの催しとして、同一日に同一場所で実施した。

身体的条件により、参加時間の制限が行なわれているので、それぞれの条件にあった参加時間帯を設定した。(図1)

職員は、この主旨に賛同し、患者達と一緒にになって積極的に参加し、日常生活にみられない、患者達の行動に接した。

患者達は、自分の好きな時に、自由に参加することにとまどいながらも、彼ら自らスケジュールを立て行動した。

< 療育行事を再検討してみても >

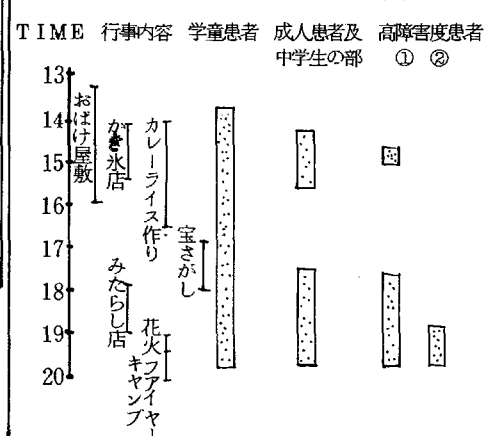
1. 行事の日常化
2. 企画運営の自主管理

この2つの方向を旨として活動を実施してみたところ、患者・職員の両方から一定の評価が得られたので、この線にそってさらに、行事運営についての経験を深めていくことにしたいと考えます。

表1 療育行事の立案者別分類

- 1 保母が教育上必要として企画する行事
(豆まき・五節句・プール・夏祭り
お月見・クリスマス・野外レクリエーション)
- 2 患者自身が発案する行事
(かるた会・オセロ大会・親善野球大会
野球大会・卓球大会)
- 3 慈善団体が事業として行なう行事
(もちつき・海水浴・ナイター)

図1 夏まつり患者参加時間帯



↓
検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります
↓

<療育行事の目的として>

1. 単調になりがちな病棟生活に変化をもたせる。
2. 社会的経験を豊かにする。
3. 家庭的雰囲気を味わう。
4. 1つの目的に向かって友達と協力し合うが、言われている。

当院で、毎年実施してきた療育行事は、20件である。立案者別に整理してみると、表1のごとくである。